

## 日本介護食品協議会とユニバーサルデザインフードについて

**ユニバーサルデザインフードの生産数量とアイテム登録数は年々増加**

## ユニバーサルデザインフード生産統計

ユニバーサルデザインフード生産統計は、調査を開始した平成 16 年以降、毎年増加傾向にあります。昨年（平成 20 年暦年）をみると生産量 5,605 トン、金額 6,484 百万円（出荷ベース）となっており、前年対比は各 115.8%、121.0%と大幅に増加しています。

## ユニバーサルデザインフード登録数

21 年 5 月 31 日現在の製品登録件数は 361 品目（前年同期 333）で、生産量同様増え続けています。

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	とろみ調整
乾燥食品	0	0	0	0	39
冷凍食品	53	11	102	3	0
常温食品	10	30	74	39	0

**「ユニバーサルデザインフード」は業界唯一の自主規格です**

現在、一般に多くの介護食品の製造・販売が行われる中、「ユニバーサルデザインフード」は業界団体（日本介護食品協議会）が作成した介護食品業界唯一のスタンダードとなっています。以前は厚生労働省の『特別用途食品』に「高齢者用食品」として「そしゃく困難者用食品」「そしゃく・えん下困難者用食品」が制度の対象とされていましたが、平成 21 年 4 月に同制度が改正され、以降、「高齢者用」や「そしゃく困難者用」についても、物性に配慮した一般の加工食品として、業界の自主規格、すなわち「ユニバーサルデザインフード」に委ねられることになりました。

会員企業は、一般や業務用の用途を問わず年々周知が高まっている、この「ユニバーサルデザインフード」ロゴマークを商品に添付することにより、商品の付加価値を一層高められることはもちろん、商品開発や販促面、業界動向の把握など多くのメリットを受けることができます。

「えん下困難者用食品」については『特別用途食品』に規格基準が示されています。

**日本介護食品協議会の自主規格**

## 「ユニバーサルデザインフード」について

日常の食事から介護食まで幅広くお使いいただける、食べやすさに配慮した食品です。



ユニバーサルデザインフードのパッケージには必ず「UDF」マークが記載されています。これは日本介護食品協議会が制定した規格に適合する商品だけについているマークです。お客さまが選び易いようなメーカーの商品にも「かたさ」や「粘度」の規格により分類された 4 つの区分を表示しています。この区分を目安にご利用に適した商品を安心して選んでいただけます。

ユニバーサルデザインフードには、レトルト食品や冷凍食品などのお惣菜をはじめ、飲み物やお食事にとろみをつける「とろみ調整食品」など幅広いタイプの食品があります。

まずはパッケージの「UDF」マークをご覧ください。

日本介護食品協議会会員である食品メーカーはこの規格に基づき商品を製造・販売しています。

## とろみ調整食品について

食べ物や飲み物に加えるだけで、適度なとろみを簡単に  
つけることができる粉末状の食品です。

また、ゼリー状にかためることができるタイプのもも  
あります。

日本介護食品協議会では、とろみの状態についてメーカ  
ー間の表示を統一しています。

とろみのつき方を右記のように、4段階のイメージで表  
現しています。

各社のパッケージに表示されている使用量の目安を確認の上ご利用ください。

【とろみの目安】表示例

とろみの強さ	++++	+++	++	+
とろみのイメージ	フレンチ ドレッシング状	とんかつ ソース状	ケチャップ状	マヨネーズ状
イメージ図				
使用量の目安	← 1g →		← 2g →	
				← 3g →

※・お茶 100ml あたり

## 『日本介護食品協議会』について～介護食品の規格を統一～

我が国は「超高齢社会」をむかえましたが、以前より各食品メーカーでは「介護」シーンでの利用を考  
慮した食品の開発や販売を行ってきました。しかし、当初の「介護食品」は、メーカーによって製造に  
関する規格や表示方法が異なるため、利用者の不便が指摘されていました。

そこで、利用者の方々の不便を解消するため、食品メーカーを中心に、素材や容器など多くの企業が集  
まり、『日本介護食品協議会』を設立（2002年4月）し、介護食品の「食べやすさ」「使いやすさ」な  
どについて「統一規格」を制定しました。協議会では、その規格に適合する多くの商品をすべての人が  
食べやすいことから「ユニバーサルデザインフード」とし、以降、次々と「ユニバーサルデザインフ  
ード」のロゴマークを表示した商品が誕生、現在もその数は増え続けています。

日本介護食品協議会では、「ユニバーサルデザインフード」をすべての利用者に安心して使っていただ  
くために、関連する情報の発信や普及啓発活動、自主規格の整備などを行い、介護食品業界の健全な発  
展を目指すとともに、みなさまの食べる楽しみを通じてQOL(クオリティーオブライフ・生活の質)の向  
上に貢献していきたいと考えています。

### 【問合せ先】

日本介護食品協議会

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 10-2

翔和神田ビル 3 階（日本缶詰協会内）

03-5256-4801

Fax03-5256-4805

kaigo@jca-can.or.jp